

動物學雜誌第四十七卷第五百五十六號

昭和十年二月十五日

報 文

西部朝鮮の近海に産する蟹類

(昭和九年十二月七日受領)

上 田 常 一

京城師範學校

總 說

西部朝鮮の近海(黃海)から今迄に著者の手許に集つた蟹類 (Brachyura) は次の2族9科28種がある。これは主として當校生徒並に地方有志の手によつて採集されたものである。

Subtribe Oxystomata

I. Fam. Dorippidae DANA

1. *Dorippe granulata* DE HAAN
2. *Dorippe japonica* VON SIEBOLD

II. Fam. Calappidae DANA

3. *Orithyia sinica* (LINNAEUS)
4. *Matula lunaris* FORSKAL

III. Fam. Leucosiidae DANA

5. *Philyra pisum* DE HAAN

Subtribe Brachygnatha

IV. Fam. Majidae ALCOCK

6. *Pugettia quadridens* DE HAAN
7. *Halimus diacanthus* DE HAAN

V. Fam. Portunidae DANA

8. *Portunus trituberculatus* (MIERS)
9. *Charybdis japonica* MILNE EDWARDS

VI. Fam. Xanthidae ORTMANN

10. *Xantho distinguendus* DE HAAN

VII. Fam. Pinnotheridae MILNE EDWARDS

11. *Pinnotheres parvulus* STIMPSON

VIII. Fam. Ocypodidae ORTMANN

12. *Uca lactea* (DE HAAN)
13. *Uca arcuata* (DE HAAN)
14. *Tympanomeres pusillus* (DE HAAN)
15. *Scopimera globosa* DE HAAN
- *16. *Cleistostoma dilatatum* DE HAAN
17. *Macrophthalmus dilatatus* DE HAAN
18. *Macrophthalmus depressus* (DE HAAN)
- *19. *Paracleistostoma cristatum* DE MAN

IX. Fam. Grapsidae DANA

20. *Pachygrapsus crassipes* RANDALL
21. *Goetice depressus* (DE HAAN)
22. *Brachynotus penicillatus* (DE HAAN)
23. *Brachynotus sanguineus* (DE HAAN)
24. *Eriocheir sinensis* MILNE EDWARDS
25. *Helice tridens* DE HAAN.
26. *Sesarma dehaani* MILNE EDWARDS
27. *Sesarma haematocheir* (DE HAAN)
28. *Sesarma quadrata* (FABRICIUS)

由來西部朝鮮の近海は地勢の關係上大河の開口するものが多いために大量の土砂が絶えず運ばれて遠淺となり、その上を暖流の支條によつて洗はれ海水は比較的溫い。更に又潮の干満の差が極めて著しく、例へば仁川に於て 9 m 41, 鎮南浦に於て 6 m 27, 木浦に於て 4 m 33 を示し、干潮に會するに及んでは至る所に宏大なる干潟地を露はし、海藻等は極めて貧弱である。上に舉げた蟹の多くは砂泥から成るこの裸の干潟地に棲息してゐる。

標本種名の鑑定に就ては静岡縣下田町東京文理科大學附屬臨海實驗所の酒井恒氏を煩はしたのがある(* 符のもの)。茲に同氏に深甚の謝意を表する。尙標本を採集して戴いた各位に同様深謝する。これ等標本は總て京城師範學校博物學教室に保管してある。

各 説

Subtribe Oxystomata

I. Fam. Dorippidae DANA

1. *Dorippe granulata* DE HAAN サメハダヘイケガニ

産地は忠清南道牙山灣 (不完全なる ♂ 1 個, 1934. 11. 9. 文榮漢)。

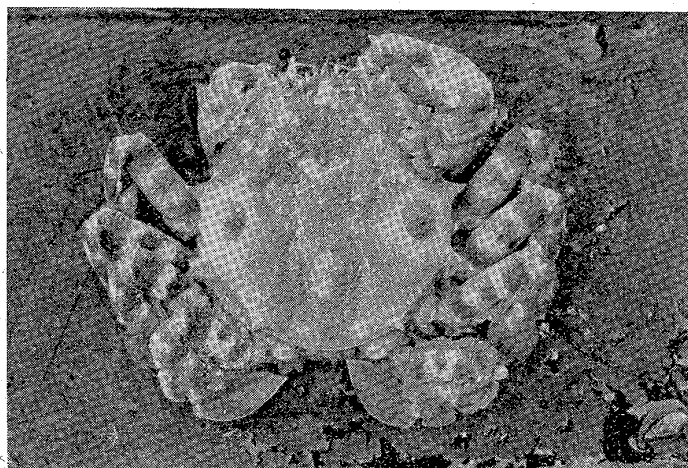
2. *Dorippe japonica* VON SIEBOLD ヘイケガニ

本種は夙に仁川から採集されてゐる (本誌第 14 卷 160 號)。京畿道朱安 (1932. 10. 2. 京城師範生徒), 平安南道平原郡漢川面 (1934. 6. 15. 權東夏)。

II. Fam. Calappidae DANA

3. *Orithyia sinica* (LINNAEUS)

産地は平壤柳町朝鮮市場 (1934. 6. 27. 梅村敏雄), 忠清南道牙山灣 (1934. 11. 9. 文榮漢)。前者には甲背の前方にフヂツボの 1 種が 10 數個寄生してゐる。本種を支那では「鬼頭蟹」と言つてゐるそうであるが (續 動物の驚異, 40 頁), 蟹の蒐集家福岡縣八女郡下廣川村の原田萬吉翁は昨年 6 月仁川に來て同地^{チウケン}扭峴小學校でこの蟹 (第 1 圖) を見付け、未だ嘗て見たことのない珍中の珍 といふ譯で假に「チウケンガニ」なる名稱をつけられた。本種に就ては、本誌第 38 卷 458 號 436—437 頁 に瓜田友衛氏の詳細なる記載があるが、圖が載つてゐないから、扭峴小學校訓導藤原正隆氏から著者に寄せられた寫眞を



第 1 圖 *Orithyia sinica* (LINNAEUS) (縮小)

こゝに掲げることにした(藤原訓導に感謝する)。甲背に見られる左右2つの大きな濃赤紫色の眼状紋と、内臓の位置を示す甲背の刻紋及び頭胸甲側縁の棘状突起とは相連關して、前の平家蟹とは一寸異つた鬼の面相を呈し、支那人の所謂「鬼頭蟹」なる名前を眞にふさはしきものと思はせる。

4. *Matuta lunaris* FORSKAL キンセンガニ

本種は夙に仁川から採集されてゐる(本誌第14巻162號)。産地は忠清南道舒川郡庇仁灣(1933. 8. 18. 劉達相), 平安南道平原郡漢川面(1934. 6. 15. 權五根), 京畿道仁川松島附近(1934. 7. 27. 石川忠臣), 忠清南道保寧郡熊川(1934. 8. 20. 上水流和男)。これ等のキンセンガニは日本動物圖鑑第2049圖のものと異り、甲背に暗紫色の微小點の列から成る網目紋様を有す。

III. Fam. Leucosiidae DANA

5. *Philyra pisum* DE HAAN マメコブシガニ

本種は夙に仁川から採集されてゐる(本誌第14巻165號)。産地は京畿道仁川(上田常一), 京畿道永宗島(1932. 6. 26. 上田常一), 京畿道水原郡求文川里(1933. 6. 17. 上田常一), 仁川(1933. 7. 30. 石川忠臣), 平安南道平原郡漢川面(1934. 6. 15. 權五根)。

Subtribe Brachygnatha

IV. Fam. Majidae ALCOCK

6. *Pugettia quadridens* DE HAAN ヨツバイソガニ

本種は夙に仁川から採集されてゐる(本誌第14巻170號)。その他には平安南道姉妹島(1933. 8. 7. 小川末雄), 黃海道小靑島(1934. 10. 12. 樋口次郎)。

7. *Halimus diacanthus* DE HAAN ツノガニ

本種は夙に仁川から採集されてゐる(本誌第15巻171號)。仁川月尾島(♂1個 1934. 8. 5. 前川光男)。これの頭胸甲の側縁にはフヂツボの種が寄生してゐる。

V. Fam. Portunidae DANA

8. *Portunus trituberculatus* (MIERS) ガザミ

産地は仁川(上田常一), 全羅北道末島(1933. 5. 1. 村山仙), 京畿道水原郡求文川里(1933. 6. 17. 上田常一), 京畿道木徳島(1933. 8. 26. 韓承詰), 忠清南道保寧郡熊川(1934. 8. 20. 上水流和男)。朝鮮人はこれを捕へて食用にする。

9. *Charybdis japonica* MILNE EDWARDS イシガニ

産地は仁川(上田常一), 平安南道姉妹島(1933. 8. 7. 小川末雄), 忠清南道舒川郡庇仁灣(1933. 8. 18. 劉達相), 黃海道小靑島(1933. 10. 12. 樋口次郎)。本種の學名は酒井恒氏によつた(日本産蟹類の學名に就いて. 植物及動物, 第2巻9號1540頁)。朝鮮人はこれも捕へて食用にする。

VI. Fam. Xanthidae ORTMANN

10. *Xantho distinguendus* DE HAAN シヘアフギガニ

産地は忠清南道舒川郡庇仁灣 (1933. 8. 18. 劉達相)。

VII. Fam. Pinnotheridae MILNE EDWARDS

11. *Pinnotheres parvulus* STIMPSON シロピンノ

産地は京畿道木徳島 (カキの殻内に棲息してゐたもの) (1933. 8. 26. 韓承喆), 平安南道平原郡漢川面 (ハマグリの殻内にゐたもの) (1934. 6. 15. 權五根)。和名は酒井氏の新稱によつた (日本産カクレガニ科の分類, 植物及動物, 第1巻7號978頁)。

VIII. Fam. Ocypodidae ORTMANN

12. *Uca lactea* (DE HAAN) ハクセンシホマネキ

産地は全羅南道務安郡八禽島 (1934. 8. 權東夏)。

13. *Uca arcuata* (DE HAAN) シホマネキ

産地は京畿道朱安鹽田の用水池 (1927. 8. 13. 高橋竹之助), 京畿道江華島 (1932. 5. 29. 上田常一), 京畿道水原郡海倉里 (1933. 6. 18. 上田常一), 忠清南道牙山郡屯浦面 (1933. 6. 25. 廉衡淳), 忠清南道牙山 (1933. 7. 30. 文榮漢), 全羅南道木浦 (1933. 8. 羅鶴運), 全羅南道務安郡夢灘 (1934. 8. 雨宮光子), 全羅南道八禽島 (1934. 8. 權東夏)。朝鮮人はこの蟹を捕へて食用にする。即ち干潮を待つて小供等は籠をさげて捕りに出かけるが, 蟹は驚いて穴に入る。すると子供達は熱心にその穴を掘つて巧に捕へてゐる。黒い軟泥に包まれた蟹は舉動不活潑で籠の中でじつとしてゐる。

14. *Tympanomerus pusillus* (DE HAAN) メガネガニ

産地は京畿道江華島 (1932. 5. 29. 上田常一), 京畿道水原郡求文川里 (1933. 6. 17. 上田常一)。學名は酒井氏によつた (植物及動物, 第2巻9號1543頁)。

15. *Scopimera globosa* DE HAAN コメツキガニ

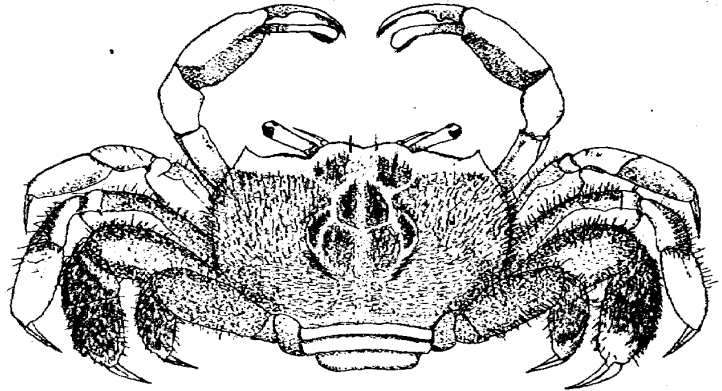
産地は京畿道永宗島 (1932. 6. 26. 上田常一), 京畿道仁川月尾島 (1934. 10. 27. 上田常一)。本年10月27日著者が仁川月尾島に出かけた時分には, 干潟地にこれが澤山出てゐた。夏の頃なら活潑に走り逃げるのに, この日は既に時候の寒くなつてゐた爲か, 走り方は案外鈍く容易に捕へることが出来た。

16. *Cleistostoma dilatatum* DE HAAN アリアケガニ

産地は京畿道永宗島 (1932. 6. 26. 上田常一), 京畿道水原郡海倉里 (1933. 6. 18. 上田常一), 平安南道廣梁灣 (1934. 6. 24. 坂田弘), 忠清南道牙山郡屯浦面 (1933. 6. 25. 廉衡淳), 忠清南道牙山 (1933. 7. 30. 文榮漢), 全羅南道夢灘 (1934. 8. 雨宮光子), 坂田弘氏が採集したものは代表

として、その一部分を静岡県下田に送つて酒井氏の鑑定を得た。

形態：頭胸甲は横に長く、甲幅は甲長の 1.5 倍に及び、両側縁は弧状に曲つて（ ）形をなす。額は前方に傾いて幅廣く、甲幅の $\frac{2}{5}$ に達し、眼窩外縁間の $\frac{1}{2}$ よりは僅に短い。額の背面には甲背から突出した低い 2 隆起があつて、その先端に近い所には小さい黒色の剛毛束を 1 つづつ生ず。甲背には黒色の剛毛を密生するも、各眼窩内外両縁間の直後の部と正中線溝とには毛を見ない。胃部の刻紋は正中線溝の左右に（ ）状をなしてゐるのが最も明瞭である。鉗脚



第 2 圖 *Cleistostoma dilatatum* DE HAAN
京畿道永宗島産 ♂ (×1½)

は左右同大にして ♀ のは ♂ よりも小さい。又その可動指及び不動指はスプーン形をなし、内縁に毛を並生し、前節の内側の上縁に 1 毛列があり、腕節と長節とは内側に短毛を有す。4 對の歩脚中、中央の 2 對は最も大きく前後の 2 對は小さい。又歩脚の各節は周縁に黒色の剛毛を生じてゐるが、第 1 歩脚に於てはその毛が短くて且つ少いために餘り目立たない。第 2, 第 3, 第 4 歩脚の長節は幅廣く扁平で杓子形をなし、その周縁からは黒色の剛毛を生ず。更に又第 3, 第 4 歩脚の腕節及び前節も扁平で幅廣く、第 3 歩脚はそこに軟い絨毛總をつけてゐる。生時鉗脚及び歩脚の指節は桃赤色を帯びて美しいけれども、甲背及び脚背にあつてはそこに生ずる剛毛の間に泥粉を沈積して汚い色をしてゐる。圖は著者が 1932 年 6 月 26 日永宗島の干潟地で採集したものゝアルコール漬標本を描いたものである。

17. *Macrophthalmus dilatatus* DE HAAN オサガニ

産地は忠清南道舒川郡庇仁灣 (1933. 8. 18. 劉達相), 忠清南道保寧郡熊川 (1933. 8. 上水流和男), 平安南道平原郡漢川面 (1934. 6. 15. 權五根), 忠清南道熊川 (1934. 8. 20. 上水流和男)。

18. *Macrophthalmus depressus* (DE HAAN) ヒラスナガニ

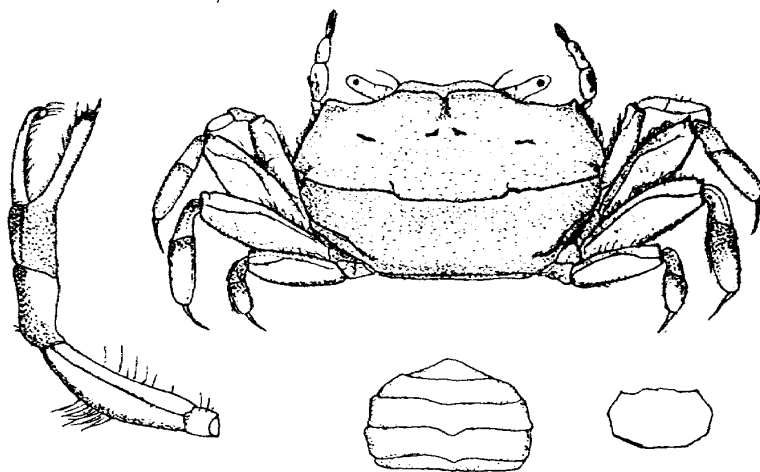
産地は京畿道仁川 (上田常一), 京畿道江華島 (1932. 5. 29. 上田常一), 全羅南道木浦 (1933. 4. 1. 羅鶴運), 京畿道永宗島 (1932. 6. 26. 上田常一), 京畿道水原郡求文川里 (1933. 6. 17. 上田常一), 忠清南道牙山 (1933. 7. 30. 文榮漢), 京畿道仁川 (1933. 7. 30. 石川忠臣), 全羅南道務安郡八禽島 (1934. 8. 權東夏)。

19. *Paracleistostoma cristatum* DE MAN アリアケガニモドキ (新稱)

産地は京畿道永宗島 (1932. 6. 26. 上田常一), 平安南道廣梁灣 (1933. 6. 24. 坂田弘), 忠清南道牙山 (1933. 7. 30. 文榮漢), 忠清南道牙山郡屯浦面 (1933. 6. 25. 廉衡淳)。坂田弘氏が廣梁灣

から採集したものゝ一部を代表として酒井氏の所に送つて種名の鑑定を得た。本種に對し著者がアリアケガニモドキなる新稱を附するに就ては、酒井氏の教示による所が多い。

形態：甲長 7 mm, 甲幅 10 mm 内外の稍扁平なる小形の蟹で、頭胸甲の兩側縁は略富士の山形をなす。額は幅廣く、眼窩外縁間の $\frac{2}{5}$ に達し、額角は前方に傾いて中央が僅かに凹んでゐる。頭胸甲の背面滑らかであり、中央には横走する 2 列の稜線がある。頭胸甲の周縁は又同形の線を以て縁付けられてゐる。これ等の稜線は本種の最も特異とする點であるから更に詳細に述べると、中央稜線の 1 つは頭胸甲の兩側縁の凹みに跨り、甲背を前後の 2 區に分つ。本線は實は極く



第 3 圖 *Paracleistostoma cristatum* (ORTMANN)

右端は頭胸甲の實物大を示す、京畿道永宗島産 ♀ (龐大)

僅に彎曲せる等長の 3 稜線が横に連結して出来たものである。次に他の 1 稜線は前區の中央を横走してゐるが、多くはその途中で切れて 4 乃至 2 條の短い稜線をなしてゐる。頭胸甲の周縁を縁付ける曲線は額の後縁で切れて居り、側縁の凹みの邊からは上下の 2 つに分れ、下位の線は甲尻に連結するが、上位の線は甲尻の角の近くに至つて止み他に連結することはない。これ等の關係は頭胸甲の側縁を横から見るとよくわかる。鉗脚は左右同大なるも小く、♀に於ては殊に小い。可動指及び不動指はスプーン形をなして周縁に毛を生じ、腕節、長節、基節にも亦毛を見る。4 對の歩脚中、中央の 2 對は最も大きく、前後の 2 對は小さく略同大である。これ等の歩脚は何れも周縁に毛を生じ、その各長節は扁平で且つその背面は平滑なる瓜實紋様を刻してゐる。生時にあつては腹部の末節と次節に朱色の斑紋を有するが、♂に於ては色彩鮮明である。又往々甲背の前方即ち、前區に朱色の圓紋を有するものがあるが、これは雌雄の特徴にはならない。圖は著者が 1932 年 6 月 26 日永宗島の干潟地で採集したものゝアルコール漬から描いたものである。

IX. Fam. Grapsidae DANA

20. *Pachygrapsus crassipes* RANDALL

産地は京畿道仁川 (1928, 9, 芹澤眞治郎)。標本は ♀ 2 個であるが、保管の仕方が悪かつために破損してゐる。共にサックリナが寄生し、大なる方には 2 つ着いてゐる。

21. *Goetice depressus* (DE HAAN) ヒライソガニ

産地は全羅北道末島 (1933. 5. 1. 村山仙), 忠清南道舒川郡庇仁灣 (1933. 8. 18. 劉達相), 黃海道小青島 (1933. 10. 12. 樋口次郎)。

22. *Brachynotus penicillatus* (DE HAAN) ウミモクヅガニ

産地は京畿道仁川 (1933. 3. 石川忠臣), 京畿道永宗島 (1932. 6. 26. 上田常一), 忠清南道舒川庇仁灣 (1933. 8. 18. 劉達相), 忠清南道保寧郡熊川 (1934. 8. 20. 上水流和男)。

23. *Brachynotus sanguineus* (DE HAAN) イソガニ

産地は忠清南道格列飛島 (1933. 3. 清水覺次郎), 全羅北道末島 (1933. 5. 1. 村山仙), 京畿道木徳島 (1933. 8. 26. 韓承喆), 黃海道小青島 (1933. 10. 12. 樋口次郎)。

24. *Eriocheir sinensis* MILNE EDWARDS シナモクヅガニ

産地は京畿道水原郡求文川里 (1933. 6. 17. 上田常一), 忠清南道牙山郡屯浦面 (1933. 6. 25. 廉衡淳), 京畿道朱安 (1933. 8. 8. 塚田豊), 京畿道永宗島 (1933. 8. 10. 関炯來), 忠清南道保寧郡熊川 (1934. 8. 20. 上水流和男)。以上は黃海沿岸の採集であるが, 黃海に注ぐ河川の流域で採集された箇所は次の通りである。忠清南道扶餘, 平安北道楚山, 京畿道長端, 金村, 素砂, 永登浦, 及び全羅北道金溝。本種の特徴殊に *Eriocheir japonicus* DE HAAN との區別に就ては, 本誌第 33 卷 458 號 433 頁に瓜田友衛氏の記載がある。朝鮮人は好んでこれを食べるが, これは朝鮮に多い肺臓デストマの中間宿主をなすために, 大正 13 年 4 月 30 日朝鮮總督府令第 18 號によつてその採取及び授受を禁止された。

25. *Helice tridens* DE HAAN アシハラガニ

産地は京畿道江華島 (1932. 5. 29. 上田常一), 全羅南道木浦 (1933. 4. 1. 羅鶴運), 京畿道永宗島 (1932. 6. 26. 上田常一), 京畿道水原郡海倉里 (1933. 6. 18. 上田常一), 平安南道廣梁灣 (1933. 6. 24. 坂田弘), 忠清南道牙山郡屯浦面 (1933. 6. 25. 廉衡淳), 忠清南道牙山 (1933. 7. 30. 文榮漢), 仁川 (1933. 7. 30. 石川忠臣), 全羅南道木浦 (1933. 8. 羅鶴運), 京畿道江華島乾坪里 (1933. 12. 26. 牛飼五郎), 全羅南道務安郡八禽島 (1934. 8. 權東夏)。本種の和名は便宜上日本動物圖鑑 (1114 頁) によつたが, DE HAAN 氏の所謂ベニガニであり, 寺尾新氏の所謂ハマガニである (本誌第 28 卷 331 號 28 頁)。朝鮮人はこれを捕へて食用にする。稻の有害者である。

26. *Sesarma dehaani* MILNE EDWARDS カクレガニ

産地は京畿道水原郡海倉里 (1933. 6. 18. 上田常一), 忠清南道牙山郡屯浦面 (1933. 6. 25. 廉衡淳)。本種も稻の有害者であるが, 朝鮮人は食べない。

27. *Sesarma haematocheir* (DE HAAN) アカテガニ

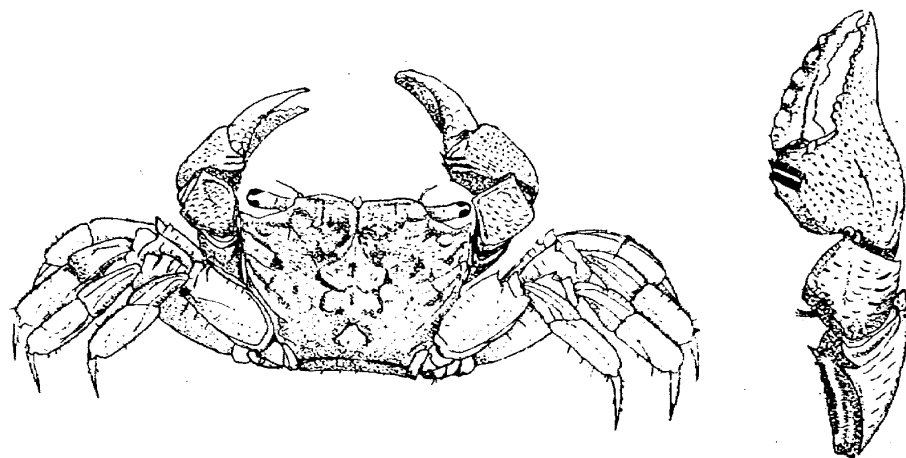
産地は全羅南道木浦 (1933. 8. 羅鶴運), 全羅南道務安郡八禽島 (1934. 8. 權東夏)。

28. *Sesarma quadrata* (FABRICIUS) クシテガニ

産地は京畿道江華島 (1932. 5. 29. 上田常一), 京畿道永宗島 (1932. 6. 26. 上田常一), 京畿道水原郡海倉里 (1933. 6. 18. 上田常一), 京畿道水原郡求文川里 (1933. 6. 17. 上田常一), 平安南道廣梁灣 (1933. 6. 24. 坂田弘), 忠清南道牙山郡屯浦面 (1933. 6. 25. 廉衡淳), 忠清南道牙山 (1933. 7. 30. 文榮漢)。

形態：頭胸甲は前方が稍廣がつた四角形をなし、前側縁は内方に彎曲する。額は幅廣く甲尻よりも長い。額角は前方に傾き、その前縁は弧状をなすも、中央は凹みて一見弓の腰形をなす。額の後縁

は3條の縦走溝によつて4隆起を見る。中央溝は最も深く又狀をなして後走し甲背に消えるが、左右溝は浅くて而も短い。中央溝の起點には、



第4圖 *Sesarma quadrata* (FABRICIUS) 京畿道江華島産 ♂ (×1)

左右から小さい剛毛束が八字形に生じて門をなす。甲背は中央が高まり、胃部の刻紋は明瞭にして、彼の中央溝と會して花瓶形の紋様をなし、眼窩の直後と甲尻の直上には明かな凹みがある。その他甲背には前側縁から斜に後方に走る5條の長い稜線があり、又甲背至る所に貧弱な短い稜線が散在するが、ルーペを用ふればそれには黒毛を生ずるを見る。鉗脚は鰲肌狀をなすが、最も著しきは櫛を有することである。即ち鉗脚の前節の内縁櫛可動指の關節部位の直後には斜に位する長さ3mm位な黒い櫛が2枚並んでゐる。黒い櫛とは齒が黒いので、それは短くて硬い弾力のある10數本の剛毛狀物から出来てゐる。可動指及び不動齒の相接する縁には疣狀の齒を有し、可動指の上縁には縦に1列の疣狀突起が並んでゐる。その他腕節の内縁に剛毛の1束があり、長節の内面には縦に2列の毛を生ず。各歩脚の長節のみは扁平で幅廣く、その上縁には先端近くに1個の深い切れ込みを生じ、外面には相並行する稜線を見る。尙腕節、長節、指節の周縁には毛を生ずるが、その毛は長くない。生時鉗脚の指部は赤褐色を帯びるが、この色はアルコール漬標本でも長く保存される。標本は著者が1932年5月29日江華島で採集したものゝアルコール漬標本から描いた。

(附記) 以上述べた蟹が西部朝鮮の近海に産する總てを網羅したものとは考へない、寧ろこれ等は最も普通な種類であつて、今後更に精査を續けることによつて、種數を増すことは明かである

Résumé

On the Brachyura of the West Korean Waters (Yellow Sea)

By

Tsuneichi KAMITA

Keijo Training School, Seoul, Korea

The number of species of Brachyura collected in the West Korean Waters (Yellow Sea) is twenty-eight in all, as is shown here:

- | | |
|---|---|
| 1. <i>Dorippe granulata</i> DE HAAN | 15. <i>Scopimera globosa</i> DE HAAN |
| 2. <i>Dorippe japonica</i> VON SIEBOLD | 16. <i>Cleistostoma dilatatum</i> DE HAAN |
| 3. <i>Orithyia sinica</i> (LINNAEUS) | 17. <i>Macrophthalmus dilatatus</i> DE HAAN |
| 4. <i>Matuta lunaris</i> FORSKAL | 18. <i>Macrophthalmus depressus</i> (DE HAAN) |
| 5. <i>Philyra pisum</i> DE HAAN | 19. <i>Paracleistostoma cristatum</i> DE MAN |
| 6. <i>Pugettia quadridens</i> DE HAAN | 20. <i>Pachygrapsus crassipes</i> RANDALL |
| 7. <i>Halimus diacanthus</i> DE HAAN | 21. <i>Goetice depressus</i> (DE HAAN) |
| 8. <i>Portunus trituberculatus</i> (MIERS) | 22. <i>Brachynotus penicillatus</i> (DE HAAN) |
| 9. <i>Charybdis japonica</i> MILNE EDWARDS | 23. <i>Brachynotus sanguineus</i> (DE HAAN) |
| 10. <i>Xantho distinguendus</i> DE HAAN | 24. <i>Eriocheir sinensis</i> MILNE EDWARDS |
| 11. <i>Pinnotheres parvulus</i> STIMPSON | 25. <i>Helice tridens</i> DE HAAN |
| 12. <i>Uca lactea</i> (DE HAAN) | 26. <i>Sesarma dchaani</i> MILNE EDWARDS |
| 13. <i>Uca arcuata</i> (DE HAAN) | 27. <i>Sesarma haematocheir</i> (DE HAAN) |
| 14. <i>Tympanomereus pusillus</i> (DE HAAN) | 28. <i>Sesarma quadrata</i> (FABRICIUS) |